

大田清掃工場

使用後の水を管理する分析室

清掃工場では、ごみの焼却により発生した高温の灰を冷却するために、水を使用しています。冷却水は灰が混ざった汚水となり、この灰汚水に塩化第二鉄（凝集剤）を投入し汚れを小さな粒にまとめます。小さくなった粒に高分子ポリマー（凝集助剤）を混ぜ、汚れをさらに大きな粒にした後、ろ過をし、法令で定められた基準値以下まで、きれいな水にして下水道に放流します。分析室は放流する前の水が、適正に処理されているかを管理しています。

多摩川清掃工場

工場職員が子供雑誌の漫画に出演しました

ある朝、もるちゃんはお母さんの言い付けで、ごみを出しに行きました。でも既に清掃車が通り過ぎてしまい、途方に暮れたもるちゃんは仕方なく多摩川清掃工場を訪ねました。ちょうど工場見学が行われていて、もるちゃんはちゃっかりその一行に混じって、清掃工場のしくみや23区のごみがどうやって処理されているのかなどの説明を工場の職員から聞き、ごみの分別が大事なことを始めて知りました。その日からもるちゃんは家庭でも分別をするようになり、ご褒美にお母さんから特大のアイスクリームをもらいました、とさ。

「子供の科学」に連載中の漫画「GoGo！ミルボ」2006年3月号「家庭のごみはどこへ行く？」のお話でした。



多摩川清掃工場の技術係職員が実名で登場しました。顔もそっくりで、「実物よりかっこいい」と娘さんたちに言われたそうです。

千歳清掃工場

区との連絡を緊密にしています

2月21日（火）熊本世田谷区長が千歳工場に来場されました。区長に就任された平成15年から3年ぶり、2度目の訪問になります。今回は、世田谷区で年に一度実施している「清掃一部事務組合派遣職員報告会」の席上で、「ぜひ、工場に」との職員からの要望に「現場の職員から直接、話を聞きたいので、それでは今年度中に」という約束が実行されたものです。当日は、工場施設の見学のほか、意見交換会では、17名の都及び区派遣職員と午前9時から10時の予定をオーバーして、忌憚のない質疑応答が交わされました。最後に、「今後は、世田谷清掃工場の新規稼働をはじめ、廃プラスチックのサーマルリサイクルなど、ますます区との連携が重要になり、安全で安心なまちづくりのため工場職員に大いに期待します」とお言葉をいただきました。

渋谷清掃工場

連絡会を開催しました

渋谷清掃工場では、変動の激しい清掃行政に対応するため、平成18年1月に渋谷区環境清掃部と「連絡会」を開催しました。工場からは操業実績等を報告し、区からはダイオキシン問題審議会の審議状況、リサイクルの現況、清掃事務所の収集状況等の報告を行い、廃プラやアスベスト対策等について意見交換を行いました。今までに9回開催していますが、今後とも区と協力して清掃事業の円滑な実施に努めてまいります。